

わたし“田中しほ”が看護師の経験を活かして作成した 「看護師へのハラスメント対策推進」を求める意見書が 京都府議会9月定例会で否決されたことについて

●地方議会は法律にもとづき、国会へ意見書を提出することができます。

●この制度と看護師だった経験を活かし、わたし“田中しほ”は「看護職員に対する患者・家族等からのハラスメント対策の推進を求める意見書」案をつくり、京都府議会2023年（令和5年）9月定例会に提出したのですが、残念ながら賛成多数となりませんでした。

●これは法改正によって看護師を守り、離職を防ごうとする意見書なのに“なぜ”否決されたのか。「野党会派の案だから」が多数派の反対理由のひとつだとしたら……それは政治への不信感を招く行為に他なりません。

●こうした壁に直面することは今後もあるはずですが、わたし“田中しほ”は奮闘し続けることを今あらためて自分自身に強く求めています。

提出した意見書（抜粋）

我が国の医療機関において、看護職員は患者の人権を尊重し、安全かつ質の高い医療と看護の提供に努めている。しかし近年、患者やその家族等からのハラスメントが増加し、看護職員は自己尊重を守りながら医療を提供することが難しくなっている（中略）。国におかれては、安全かつ質の高い医療と看護を提供する上で、以下の事項について積極的に取り組むことを求める。

1.「看護師等の人材確保の促進に関する法律」を早急に改正し、国、都道府県、事業主（医療機関等）が患者・家族等から看護職員へのハラスメント対策の強化に取り組むことを明記すること（事項2・3・4・5省略）。

洛央小学校・下京中学校を卒業し
満1歳の娘を夫と一緒に育てながら
今も豊園学区に暮らしています

Shiho Tanaka ● Profile

1994年下京区（豊園学区）生まれ（29歳）。京都カトリック信愛幼稚園、洛央小学校、下京中学校、日吉ヶ丘高等学校を経て進んだ京都府医師会看護専門学校の卒業後、新京都南病院に入職。集中治療室（ICU）看護師として勤務する一方、カンボジアの支援活動、地域こども食堂の運営に携わる。2022年11月に第一子を出産、剣道・弓道の2段をもつ“1歳児”のママでもある。



田中志歩 委員
決算特別委員会



街頭活動

1歳児
の
ママ 29歳

＼ご意見・ご要望など、お気軽にご連絡ください／

京都府議会〈下京区〉選出議員
田中しほ事務所

〒600-8267 京都市下京区御器屋町51-3（七条大宮上る西側1階）
Tel.070-8468-8865 Mail tanaka0721shiho333@yahoo.co.jp
公式X（エックス：旧ツイッター）@ishin_tanaka_s



Shiho Press

京都府議会〈下京区〉選出議員 田中しほ 府議会ニュース

発行日／2023年12月1日

田中しほ事務所 〒600-8267 京都市下京区御器屋町51-3（七条大宮上る西側1階） Tel.070-8468-8865

田中しほ通信
Vol.02
December
2023

京都府議会で 一般質問!!

保育士・看護師・高校教員という
子どもたちの健やかな成長を日々懸命に
支えてくださってる方々の待遇改善を
西脇知事へ強く訴えました!!

9月13日に開会し、11月6日に閉会した「京都府議会2023年（令和5年）9月定例会」。わたし“田中しほ”は9月25日の一般質問に登壇し、子どもたちの健やかな成長を日々懸命に支えてくださっている保育士・看護師・京都府立高校の先生方が少しでも働きやすくなるよう、職場環境や待遇の改善を強く訴えました。それは「子育て世代の声を京都府議会にしっかり届ける」という下京区の皆さんへの“約束”にもとづく質問でもあり、わたし“田中しほ”の訴えに西脇知事や健康福祉部長、教育長も共感されたのでしょうか。

それぞれから「職場環境や待遇の改善に向けた取り組みを進める」といった答弁を得ることができました（各要旨は内面をご覧ください）。但し前向きな答弁を得たことで満足するつもりはありません。西脇知事、健康福祉部長、教育長の答弁が今後どのように推移するかをしっかりと注視し続け、下京区の皆さんに誓った「これまで変わらなかった京都府政を変える」に結びつけていきます。こうして府議会議員としての第一歩を踏み出した“田中しほ”へ、ご意見ご要望あればお気軽にお声がけください。

わたし“田中しほ”が9月25日に一般質問した様子が動画でご覧いただけます





保育士の皆さんに京都で働きたいと 思ってもらうための取り組みを!!

質問の背景と内容 / 要旨

全国各地と同様、京都も保育士が不足しています。その原因のひとつは責任の重さに比べ、給与等の待遇が充分ではないことです。こうした課題をふまえ、**より多くの保育士さんたちに「京都で働きたい」と思ってもらえる取り組みとして、給与水準の引き上げに関することを質問しました。**

西脇知事の答弁 / 要旨

現在、京都府の保育士の年間平均給与は全国平均を54万円ほど上回っており、この7年間で人数も2,400人ほど増えている。その一方、**保育士の給与水準は全職種の平均に比べて低く、労働環境と共に引き続き改善していきたい。**

知事の答弁は前向きでしたが、

今後も満1歳の娘を保育園へ預けている当事者としての感謝を込め、
保育士の皆さんを支援する施策の実現を訴え続けようと思いました。



より多くの若者が看護師になりたいと 思ってくれるための働き方改革を!!

質問の背景と内容 / 要旨

厚生労働省の報告によると日本の看護師は128万人ですが、その約32%（41万人）が妊娠適齢期とされる35歳前後の女性。夜勤もされています。これを英国サウサンプトン大学が公表した「夜勤は生理不順を招き、不妊率を高める」との研究結果に照らすと看護師が不足する一因が浮き彫りになり、**「多くの若者が看護師になりたいと思ってくれるための働き方改革を!!」と訴えるための質問をしました。**

健康福祉部長の答弁 / 要旨

看護師の確保と定着を図ることは重要と考える。引き続き**京都府看護協会をはじめとする関係団体等と連携し、職務環境の改善に向けた取り組みを進めていく。**

こうした質問には病院で看護師をしていた頃に感じた“働き方改革”の必要性を込めており、
より多くの若者がナースをめざしてくれる環境づくりを今後も訴え続けようと思いました。



府立高校の先生方が働きやすく 産休・育休から復帰しやすい環境を!!

質問の背景と内容 / 要旨

授業、クラス運営、事務仕事、部活の指導、保護者への対応、等々が尽きない先生方にとって仕事と子育ての両立は難しく、産休・育休の利用にも課題が多々あるようです。これらが教員の離職や現場の人員不足を招いていると考え、「**府立高校の先生方が働きやすく産休・育休から復帰しやすい環境を!!**」と訴えるための質問をしました。

教育長の答弁 / 要旨

教員が仕事と子育ての両立ができる職場環境を整備することは大切と考え、**管理職や他教員の意識改革などを進めている。**あわせて教員が産休・育休を遠慮なく利用できるよう、まずは相談しやすい職場づくりに努めていきたい。

保育士や看護師の皆さんと同様、

府立高校の先生方が子育てしやすい環境づくりは急務であり、
京都の少子化を防ぐことにもなる“働き方改革”を訴え続けようと思いました。

